

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等政策研究事業
(免疫アレルギー疾患等政策研究事業 免疫アレルギー疾患政策研究分野))
分担研究報告書

超音波検査を用いた標準的関節リウマチ診療の普及と教育活動に関する研究

研究分担者 大野 滋 横浜市立大学付属市民総合医療センター リウマチ膠原病センター 准教授

研究要旨 関節超音波ガイドラインの作成、JCR 関節超音波講習会の開催、JCR 登録ソノグラファー制度の導入を通じて我が国でも関節超音波検査が普及しつつある。関節超音波検査の普及により関節リウマチ診療の標準化が期待できる。その証明のための多施設共同臨床研究などを通じた日本発のエビデンスの発信の準備が整いつつある。

A. 研究目的

関節超音波検査の臨床応用により、我が国における関節リウマチ診療の標準化に寄与すること。標準的な関節超音波検査を全国のリウマチ専門医に普及させるため広く教育活動を行う。

B. 研究方法

(1)関節超音波ガイドラインの作成；個々の関節超音波検査実施者が標準的な観察および評価を行うことができるよう、日本リウマチ学会（以下 JCR）関節リウマチ超音波標準化小委員会と本分科会の連携により「関節超音波撮像法ガイドライン」、「関節超音波評価ガイドライン」を作成する。(2)関節超音波講習会の指針作成と実施；関節超音波検査の普及のための JCR 講習会を標準化するために「JCR 関節超音波検査初心者向け講習会開催指針」「同アドバンスコース開催指針」を立案し、これに則り前述の両ガイドラインを用いながら JCR 各支部主催の初心者向け講習会、JCR 主催の超音波講習会アドバンスコースをそれぞれ実施する。(3)JCR 登録ソノグラファー制度の制定；標準的な超音波検査が行える JCR 認定ソノグラファー制度の制定の前段階として JCR 登録ソノグラファー制度の規則・カリキュラムを作成し、希望者を JCR に登録する。

(倫理面への配慮)

該当せず。

C. 研究結果

(1)平成 23 年に「関節超音波撮像法ガイドライン」、平成 26 年に「関節超音波評価ガイドライン」がそれぞれ発表された。(2)EULAR の関節超音波講習会開催に関する推奨に準拠する形で指針を作成した。講師一人当たりの受講者数を制限すること、全体の半分以上の時間を実習にあてること、RA 患者を対象に実習する時間を設けることなどが記載された。平成 24 年に JCR 近畿支部、関東支部において初心者向け講習会が開催された。平成 25 年からは全ての支部で初心者向け講習会が毎年開催されている。さらにアドバンスコースは平成 25 年から毎年開催されている。参加者アンケートの結果は毎回ほぼ同様であり、講習会全体および講義、各実習の満足度は良好であった(平均 6.2~8.5 [10 段階評価])。講義スライド・配布資料の充実、より多くの患者を対象とした実習を望む意見があった。(3)平成 26 年に JCR 登録ソノグラファー制度の規則・カリキュラムを作成した。平成 26 年は 237 名が登録ソノグラファーとして学会に登録された。

D. 考察

ガイドラインの作成、全国各支部での初心者向け

超音波講習会の開催により関節超音波検査が普及しつつあるものと思われる。これまでの JCR 初心者向け講習会参加者は計 1000 名以上にのぼる。初心者向け講習会で超音波検査の裾野を広げるとともに、アドバンスコースでより上級者のレベルアップに対応できているものと思われる。一方、我が国固有の特徴として超音波技師の存在がある。解剖や疾患、病態の理解の助けになるような技師向けの独自の教育システムが必要と思われ、ウェブやメールマガジンなどを利用した教育システムを構築したい。将来的には一定レベルの技術と経験を積んだ JCR 認定ソノグラファー制度の導入を予定している。その際には超音波関連の他学会との連携も重要であろう。より中期的な目標として、我が国の医療状況に即した JCR レコメンデーションを作成予定である。保険請求に関する条件や検査報告書の標準化も同時に行いたい。

E. 結論

ガイドラインや講習会の開催を通じて我が国でも超音波検査が普及しつつある。超音波検査の普及により関節リウマチ診療の標準化が期待できる。その証明のための多施設共同臨床研究などを通じた日本発のエビデンスの発信の準備が整いつつある。

F. 健康危険情報

該当せず。

G. 研究発表

1. 著書

- ・リウマチ診療のための関節エコー撮像法ガイドライン 羊土社 (2011/3/28)
- ・リウマチ診療のための 関節エコー評価ガイドライン～滑膜病変アトラス 羊土社 (2014/4/22)

2. 学会発表

- ・大野 滋：平成 27 年 日本リウマチ学会総会シンポジウム 10 次世代のイメージング
JCR の試み 関節超音波講習会アドバンスコー

ス 現状と将来展望

- ・大野 滋：平成 26 年 日本リウマチ学会総会シンポジウム 11 画像診断の進歩
「関節超音波の普及と今後への課題」

H. 知的財産権の出願・登録

該当せず。